

平成21年度 施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成21年7月17日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12220
政策名(章)	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当局	健康福祉局
基本施策名(節名)	第2節 市民健康づくりの推進	施策所管課	健康企画課
施策名	保健サービスの充実	課長名	村上裕之

1 施策の目的

医療機関等と有機的な連携を図り、乳幼児期から高齢期に至るまでのライフステージに応じた身近で適切な保健サービスの提供に努める。
また、難病対策、感染症予防に対する知識の普及、啓発や相談体制の充実に努める。

2 施策の概要

ライフステージに応じた保健事業の充実を図るため母子・成人保健に係る各種健診・相談事業や生活習慣病予防対策事業を行うと共に、予防接種事業や精神・難病・結核・感染症予防対策事業等を行っている。

3 事業費

(単位:千円)

年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	4,031,494	3,406,927	事業費の増は、個別予防接種事業は第3期・4期定期麻疹予防接種開始によるもの、がん施設検診事業及び肝炎ウイルス検診事業は受診率の向上によるもの、妊婦健康診査事業は公費負担回数が2回から5回に増加したものの、減は、法改正により基本健康診査事業の事業費が減ったも
人件費	871,670	880,710	
市民一人あたりの事業費(単位:円)	5,710	4,799	

*年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

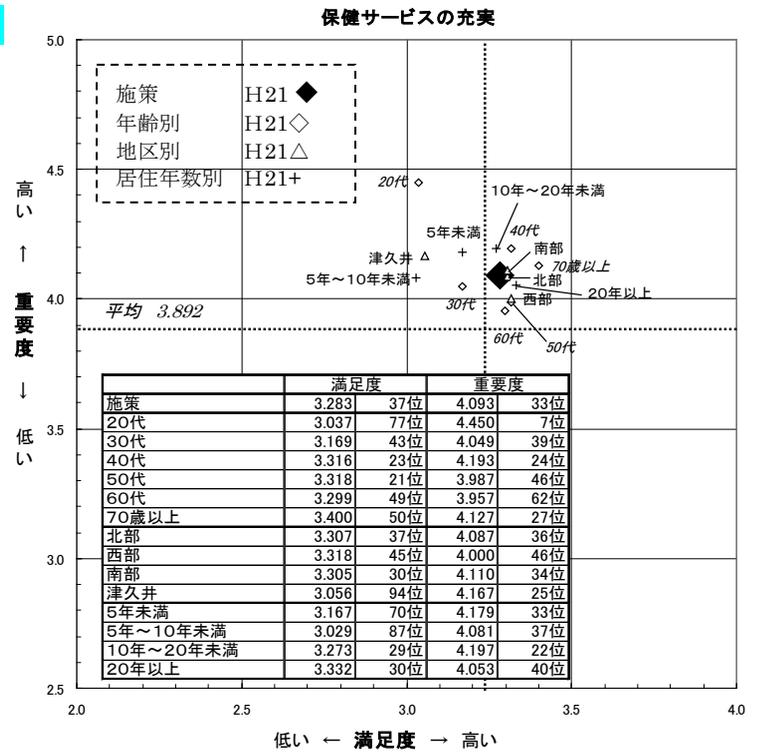
4 成果・活動指標

順位	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)
2	指標1 予防接種接種率	三種混合・二種混合・麻しん・風しん・ポリオ・BCG・高齢者インフルエンザ予防接種について、接種者数/対象者数×100、により算出した接種率の平均値 接種者数/対象者数	過去における毎年の接種率の実績値より、今後の伸び率を予測し、目標値とする。接種勧奨中止中の日本脳炎については指標から外している。
1	指標2 がん検診受診率	がん検診受診者数/がん検診対象者数(胃がん、子宮がん、乳がん、大腸がん、肺がんの5がんを対象とする。)	国の定めた「がん対策推進基本計画」において、がん受診率を「5年以内に50%以上とすることを目標とする。」とされたことを踏まえつつ、平成20年度については受診券の一元化効果を見込み対前年度比10%増を目標にしている。
3	指標3 相談会1回当たり参加者数	毎月1回開催しているひきこもり相談会について、年間の参加者数を開催回数で除して得た1回あたりの参加者数 年間参加者数/相談会開催回数	事業開始時期からの参加者数の推移により、今後の参加者数を予測し、目標値とする。
4	指標4 受講に満足している人の割合	難病講演会参加者の満足度(%) 受講に満足している人/参加者*100	難病講演会実施時に行っているアンケートに基づき、満足度を指標としてニーズを評価する。
5	指標5 居宅生活支援事業利用者数	難病患者等ホームヘルプサービス事業及び短期入所事業の利用者数	難病患者等ホームヘルプサービス事業及び短期入所事業の利用者数をとらえ、必要なサービスを提供する。
6	指標6 がん発見率	がん確定者/がん受診者数×100(胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がんの5がんを対象とする。)	がん検診の有効性の評価としての指標である検診受診率とともに、指標のひとつとされるがん発見率を併用して受診率の向上や発見率の推移を見守り、相互に活用することにより受診率の向上策や受診勧奨方法等も探る。平成16年度の国平均である0.11%を参考とし本市の平均的数値であり基準年平成17年の数値である0.17%を目標値として注視していく。

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位:%)	H17	79.0	81.1	81.5	82.1	81.0	83.1		84.2	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	593,967	4.5	643,565	4.5	823,864	4.5				
指標2 (単位:%)	H18	11.5	12.7	12.5	13.9	14.5	14.3 15		14.7 15.5	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	485,857	2.3	608,542	3.3	924,741	3.2				
指標3 (単位:人)	H17	20.6	25.0	18.9	25.0	17.2	25.0		25.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	2,845	0.3	8,184	0.9	9,025	1.0				
指標4 (単位:%)	H17	95.0	95.0	87.0	95.0	92.6	95.0		95.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	30,958	3.7	27,443	3.2	30,106	3.5				
指標5 (単位:人)	H17	7.0	11.0	9.0	11.0	6.0	11.0		11.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	0	0	13,242	1.5	13,053	1.5				
指標6 (単位:%)	H17	0.17	0.17	0.13	0.17	0.15	0.17		0.17	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	390,145	2.3	608,542	3.3	924,741	3.2				

5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.283で全119施策の中で37番目。
- 重要度は4.093で33番目である。
- 改善要望度は0.107で42番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 ② 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立つて事業展開している	④ 2 1	④ 2 1	前回の評価と対比すると、満足度は39位から37位に上昇、重要度は前年度と同じ33位、改善要望度は33位から42位に下がっていることから、全体としてプラス評価されたと考えられ、評価点を前回と同様とした。
合計		10		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	本市の平成20年度のがん検診の受診率は、14.5%と年々増加傾向にあるものの更なる受診率の向上が求められる。受診率を急激に上げることは難しいことであるが、また同時に財源も全て一般財源で賅っており財源確保も懸念される。
解決策	受診率向上に向けては、受診券の一元化や啓発に努め受診しやすい環境づくりに努めている。しかし、受診率が上がれば上がるほど財源は必要となる。医師会への委託料や受診者の一部負担金の見直しが考えられるが、どちらもハードルが高く飛躍的な解決は難しいので、小額づつでも改定していく検討が必要と考える。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向